

第2学年 図画工作科 カムカム紙カミワールド ～つないでつるして～

学習指導者 毛利 二実子

見通し 1 学習課題を設定する。[情]【やってみタイム】

前時までにつくったものの写真記録（紙カミアアルバム）を見返したり，今の多目的室と授業前の何もない多目的室との写真を見比べたりすることで新聞紙などを使って空間を変化させていくことの面白さを感じられるようにし，さらに面白い空間にしていこうという意識を高め，本時の課題を設定した。

多目的室が面白い「紙カミワールド」に変身しているよ。

自分のお気に入りの写真を振り返ることで，変化の様子や面白さを感じる姿が見られた。

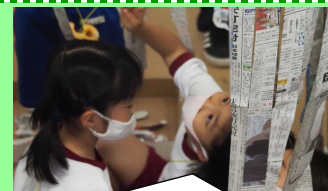
【価値付け】「もっと紙カミワールドを面白く変身させようとしているんだね」などと共感した。



もっと工夫した紙カミワールドに変身させよう

行動 2 前時につくったものを鑑賞する。[粘]【見るミルポイント】

初めにつくりつつあるものを鑑賞する時間を設けた。鑑賞のポイント「見るミルポイント」を使い，離れて見たり，角度を変えて見たりすることで，「輪にしてつなぐと面白いな」「曲げてつなげているからうろこみたいに見えるよ」「ひらひらUFOみたい」など，つなぎ方やつるし方，並べ方などの工夫を見付け，自分の表現に取り入れることができるようにした。



見るミルポイントを使って，下から見上げるとひらひらが面白いよ。私もこうしてみたいな。

【価値付け】振り返り場面で，「友達の工夫を発見したことを使って，もっと面白くなったね」などと称賛した。

行動 3 工夫を考えながら「紙カミワールド」をつくっていく。[粘]【見るミルポイント】

細長く切った新聞紙やチラシのつなぎ方やつるし方，並べ方など，どんな工夫をしたかを表出し，つくり，つくりかえ，つくっていくことができる場を設定した。見通しをもって，自由に試していく中で友達と関わりながら粘り強くつくりかえていった。



下から見ると面白かったから，短い紙と長い紙を交互につるしてひらひらさせよう。

いいね。たくさんひらひらをつけよう。こっちとつながるともっと面白いよ。

振り返り 4 本時の学習を振り返る。[自]【紙カミアアルバム】

自分がつくったお気に入りの場所の写真と，その理由を「紙カミアアルバム」として記録することで本時の自分の頑張りを実感できるようにするとともに，「この後どうしたいですか」と問い，「全校生に見てもらいたい」とさらにしたいことを見いだせるようにした。

私のお気に入りはこちらだよ。ここから見ると，頑張って輪っかをつなげたところが見えるからだよ。

【価値付け】本時の自分の頑張りを基に次にしたいことを考えられるように，「次にしたいことを考えられているね。まだまだ頑張れそうなんだね」と称賛した。



考察 (○：成果，●：課題)

- 見通し場面で多目的室全体の変化を写真で提示したことで面白く変化してきていることを実感し，本時の意欲につながった。
- 満足する製作時間を確保したことで，「全校生に見せたい」という思いをもつことができた。
- 色を基に工夫する働きかけが不十分であり，色を視点に工夫する子供の姿が表れにくかった。



【後日，全校生が鑑賞】